

展示概要

なばたとしたかの書籍「こびとづかん」シリーズは、2006年の刊行以来、一度見ると忘れられない強烈な印象のキャラクターと、図鑑形式という独特のスタイルで、多くの人びとの心をとらえてきました。ブームの火付け役となった当時20代の女性たちはその後母親となり、自身の子どもたちとともに絵本を楽しむように。現在、「こびとづかん」は幅広い年代で人気のシリーズとなっています。

そんな「こびとづかん」に人びとが興味と関心を持ち続ける本当の理由は、読む者が“コビト”の存在する世界にいつの間にか入り込んでしまうからです。私たちがふと感じる不思議な気配の正体や、身の周りの不思議なできごとの原因としてコビトを描くことで、なばたは読む人に寄り添う個性的な作品を生み出してきました。

本展では、「こびとづかん」シリーズの原画やスケッチ、フィギュアなどを展示。書籍では感じきれない力強さと緻密さを伝えます。同時に、「こびとづかん」以外の絵本作品や、なばたが過去に描いてきたタブロー作品など200点以上を紹介し、その独特な世界にせまります。

なばたとしたか プロフィール

1977年、石川県生まれ。2002年に開催された「GEISAI-3」で毎日新聞スカウト賞受賞。2006年、初の絵本『こびとづかん』を発表し話題となる。2008年、コビト観察のガイド本『こびと大百科』がきっかけとなり『こびとづかん』が一大ブームに。2019年4月に刊行された最新刊『日本のこびと大全』を含めたシリーズ8冊は累計270万部を超え、子ども時代に一度は通る「定番作品」として愛され続けている。また絵本創作の傍ら、「こびと研究家」として全国の関連イベントでイラスト&サイン会、トークショーといった活動を意欲的に行っている。



展示構成

第1章 こびとづかんの世界

『こびとづかん』、『こびと桃がたり』の原画や貴重なスケッチを紹介。書籍未掲載の原画も公開します。

第2章 こびと大研究

コビトの生態を、作家自身が制作したフィギュアを使用し、解説します。

第3章 いーとんの大冒険

『いーとんの大冒険』より、原画とスケッチを紹介します。

第4章 なばたとしたかの世界

19歳から描き始めた原画、新聞やフリーペーパーの挿絵、CMの原画など、過去から現在まで、なばたとしたかの仕事を紹介します。



リトルハナガシラ ©Toshitaka Nabata

見どころ

① 貴重なラフやスケッチを公開！

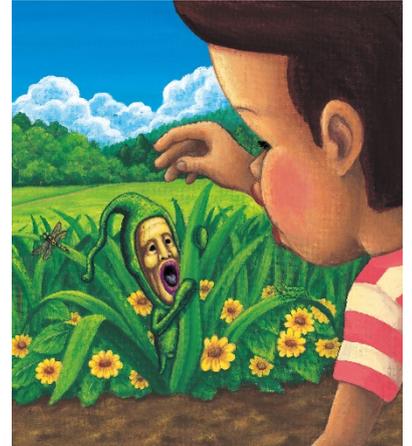
『こびとづかん』（2006年）、『みんなのこびと』（2007年）、『こびと桃がたり』（2018年）など「こびとづかん」シリーズをはじめ、『いとんの大冒険』（2007年）の原画やラフといった貴重な資料を紹介。また、なばたが初めての仕事として絵を描いた『weekly くりくり』（毎日新聞）をはじめ、新聞やフリーペーパーに描いた挿絵など、19歳から描き溜めた原画を一堂に展示します。

② 好きなコビトを描いてくれるサイン会を開催！

自分の好きなコビトを、なばたとしたか本人が一人一人に描くサイン会を全3回開催。1回目の7月28日（日）には、なばたとともに絵を描き、最後に講評を受けることができるライブペイントワークショップも行います。

③ ミュージアム内でこびと探しを実施（通期）

展覧会場外の外、ミュージアム内のどこかにコビトが隠れています。常設展など他の展示もご覧いただきながら、こびと探しを楽しむことができます。



『こびとづかん』より ©Toshitaka Nabata

関連イベント

● なばたとしたか ライブペイントワークショップ

7月28日（日）13：00～／1F 逍遙展示空間／定員20組（5歳～小学生〈2年生未満は保護者同伴〉）／要事前申込（抽選）／無料 ※申込期間：6月18日（火）～7月18日（木） ※ライブペイント見学のみ場合は申込不要です

● なばたとしたか サイン会

当日、ミュージアムショップにて対象商品を購入された方、各回先着30名に整理券を配布

①7月28日（日）15：00～ ②9月8日（日）13：00～ ③同日15：00～／1F 逍遙展示空間／各回先着30名

※対象商品の販売は9：30開始 ※書籍、または色紙へのサインになります（色紙を希望される方は要持参）

● 「こびと探し」スタンプラリー

会期中、展覧会場にてスタンプ用紙を配布（展覧会を観覧される方が対象）。館内各所に隠れた“コビト”を探してスタンプを集めます。

● 造形ワークショップ「かわさきで新種発見！コビトになって、仲間入り！」

8月25日（日）13：00～16：00／1F 逍遙展示空間／定員20組（小学生以上）／要事前申込（抽選）／1,000円

講師：内野務（図画工作家・元品川区立第三日野小学校教諭）※申込期間：7月15日（月・祝）～8月15日（木）

● ベビーカーツアー

7月18日（木）11：45～（30分程度）／2F 企画展示室1／0歳～未就学児とその保護者／定員6組／要事前申込（抽選）

※要観覧券 ※申込期間：6月9日（日）～7月9日（火）

● ギャラリーツアー

①8月4日（日）14：00～ ②8月17日（土）17：00～／2F 企画展示室1／事前申込不要／要観覧券／当日直接会場へ

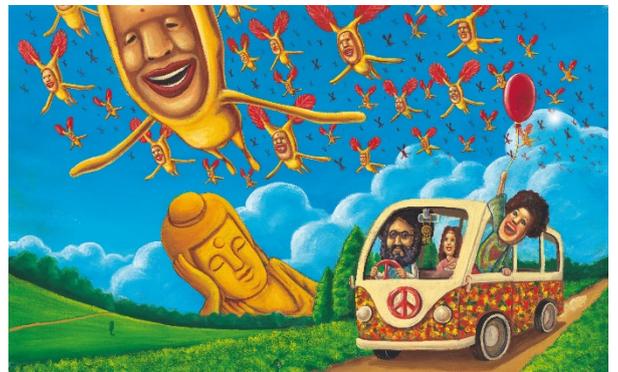
画像左：カクレモモジリ 画像右：ナツノツマミ

©Toshitaka Nabata



展覧会概要

- 展覧会名 **なばたとしたか こびとづかんの世界**
- 会 期 2019年7月6日(土)～9月8日(日)
- 休 館 日 毎週月曜日(ただし7月15日、8月12日は開館)、7月16日(火)、8月13日(火)
- 開館時間 9:30～17:00(入場は閉館の30分前まで)
※夏休み期間の土曜日(7月20日・27日・8月3日・10日・17日)は19:00まで開館延長
- 会 場 川崎市市民ミュージアム 企画展示室1
- 観 覧 料 一般600(480)円、65歳以上・大高生450(360)円、中学生以下無料
※()内は20名以上の団体料金。 ※障害者手帳等をお持ちの方およびその介護者は無料。
- 主 催 川崎市市民ミュージアム
- 企 画 株式会社オフィス渋谷
- 協 力 ロクリン社・ナバーランド



『みんなのこびと』より ©Toshitaka Nabata

<川崎市市民ミュージアム 施設概要>

多彩な表情を持つ都市、川崎。川崎市市民ミュージアムは、「都市と人間」という基本テーマを掲げて1988年11月に開館した、博物館と美術館の複合文化施設です。



★川崎市市民ミュージアムは、都市・川崎の歩みを示す歴史資料をはじめ、時代性や社会動向を敏感に反映する大衆芸術、複製技術芸術(漫画・写真・版画・ポスター・映像など)を、日本で初めて総合的にコレクションする館として、開館当時には国内外から大きな注目を集めました。現在もその収蔵品数は全国最大級となる約26万点を誇ります。

■住所/〒211-0052 神奈川県川崎市中原区等々力1-2(等々力緑地内)

■開館時間/ 9:30～17:00(入場は閉館の30分前まで)

※夏休み期間の土曜日(7月20日・27日・8月3日・10日・17日)は19:00まで開館延長

■休館日/月曜日(休日の場合は開館)、祝日の翌日(土日の場合は開館)、年末年始

■料金/入館・博物館展示室は無料。企画展、アートギャラリー展は展覧会によって異なる。

* 障害者手帳等をお持ちの方およびその介護者は企画展観覧無料。

* 20名以上の団体でご利用いただく場合、割引有。

■アクセス/JR・東急「武蔵小杉」駅北口1番乗り場からバスで約10分「市民ミュージアム前」下車すぐ



広報用画像

画像の使用を希望される方は、川崎市市民ミュージアム広報担当宛にご連絡ください。

■ 素材使用に関して

- ・今回ご提供する素材の使用は、本展覧会を紹介していただける場合に限りです。展覧会終了後の使用は一切できません。
- ・本プレスリリース内にある画像素材は全てご提供可能です。お気軽に広報担当宛にご連絡ください。
- ・トリミング・切り抜きなど画像の加工はご遠慮いただき、キャプション等の文字が画像に被らないようにご配慮ください。
- ・画像を使用する際は、クレジット「©Toshitaka Nabata」を必ずご記載ください。
キャプションは可能であればご記載をお願いいたします。
- ・記事をご掲載いただいた際には、お手数ですが掲載紙（誌）を2部当館広報宛にご送付ください。

■ 展覧会メインビジュアルについて（横・縦）

下記画像を使用する際は、クレジット明記は必須ではありません。



広報用画像一覧

①



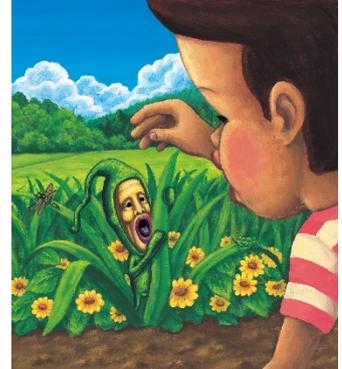
『こびと桃がたり』より

②



『みんなのこびと』より

③



『こびとづかん』より表紙

④



フィギュア リトルハナガシラ

⑤



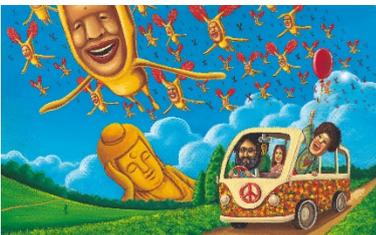
フィギュア ナツノツマミ

⑥



フィギュア カクレモモジリ

⑦



『みんなのこびと』より

⑧



『こびとづかん』より

【プレスリリースお問い合わせ】川崎市市民ミュージアム 営業・広報担当 石澤

TEL : 044-754-4500 (休館日を除く 9:30~17:00) FAX : 044-754-4533

MAIL : pr_kcm@kawasaki-museum.com

HP : <http://www.kawasaki-museum.jp/> * 指定管理者 : アクティオ・東急コミュニティー共同事業体